

2009年8月26日

ISP/CATV事業者向けインターネット相互接続サービス 「ASSOCIO-JPIXサービス」でのIPv6の対応開始について

日本インターネットエクスチェンジ株式会社
ソフトバンクテレコム株式会社

日本インターネットエクスチェンジ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：石田 慶樹 以下、JPIX）とソフトバンクテレコム株式会社（本社：東京都港区、社長：孫 正義 以下、ソフトバンクテレコム）は、各地のISP事業者やCATV事業者（以下、事業者）向けのインターネットの相互接続サービス「ASSOCIO-JPIXサービス」において、新たにIPv6に対応した「ASSOCIO-JPIXサービス（IPv6）」の提供を2009年9月1日（火）より開始します。

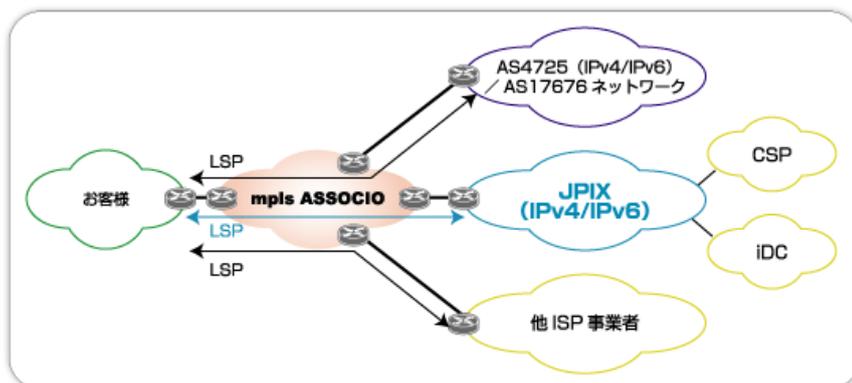
昨今懸念されているIPv4の枯渇問題については、APNIC^{※1} のチーフサイエンティストであるGeoff Huston氏の「2010年から2012年の間にIPv4の在庫がなくなる」という予測もある中で、各ネットワーク事業者への対応が求められています。このIPv6への対応には、回線の品質を維持しながら両プロトコル混合のネットワーク、およびIPv6ベースのネットワークの運用が必須となる一方で、維持管理コストの削減も大きな課題となっています。これらの諸状況に対応するために「ASSOCIO-JPIXサービス」では、混合ネットワークサービス「IPv4/IPv6 Dual」および、IPv6ベースのネットワークサービス「IPv6 Native」を提供いたします。

「ASSOCIO-JPIX サービス」は、ソフトバンクテレコムが提供する MPLS 技術を用いた商用 IP データサービス「mpls ASSOCIO」に、IP のトラフィック交換を行う JPIX のインターネットの相互接続点（Internet eXchange 以下、「IX」）を接続することで、全国どこからでも JPIX に接続している事業者の運営するインターネット網に、シームレスに効率的かつ、安価に接続いただけるトラフィック交換サービスです。

JPIX とソフトバンクテレコムは、今後も「ASSOCIO-JPIX サービス」を中心に、バックボーン上において全国各地の事業者ほか、コンテンツプロバイダー、データセンターをご利用されるお客様の効率的かつ、高品質なトラフィック交換を実現してまいります。

※1 Asia Pacific Network Information Centreの略でアジア太平洋地域のIPアドレス管理を行う組織

< 「ASSOCIO -JPIX サービス (IPv6)」 サービスイメージ図 >



< 「ASSOCIO -JPIX サービス (IPv6)」 サービス品目 >

IPv4/IPv6 Dual	IPv6 Native
100Mbps	100Mbps
200Mbps	—

「mpls ASSOCIO」について
<http://www.associo.jp/>

JPIX について
<http://www.jpix.ad.jp/>

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
 日本インターネットエクスチェンジ株式会社 営業部 Tel:03-3243-8626
 ソフトバンクテレコム株式会社 広報室 Tel: 03-6889-2300 Fax: 03-6215-5011